

心ばいな雨

竜王北小三年一組 まん年<sup>せん</sup> けいと

ぼくは、雨がふるたびとってもお父さんが心ばいず。どうしてかと言った、ぼくのお父さんは早川のゆらびん局に毎日かよっているからです。だから、雨がふるたびぼくはとても心ばいになります。

ぼくが、心ばいする理由は雨が雪が地ばんがゆるみ土砂崩れがすくおきるからです。い前、土砂がくずれ道がふさがれてしまい川原

に道を作ってもらいようやく帰って来たこともありません。また、天気よもほうで台

風や大雪のとききゅうきよ日曜日と明日とが出来なくなるかもしれないからしごとに行ってしまうこともありません。だからお父

さんの車には、あぶくろがいつてもとまれるようにとうぐが入っています。帰ってつら

れない時は不安です。なので雨降してその日に学校であつた事を話します。声を聞いて安心すると同じに女みだが出ません。だけ

# まん年けいと

102

いもぐつとはきくいしばつてがまんします。  
テレビのニュースで土砂崩れのニュースを  
見ると早川かもとときつとします。もし、お  
父さんがまきこまれたらどうしようと思いま  
す。テレビのがめんにつつた土砂崩れの様  
子を自分ばいばいつあつるか分からない土砂  
崩れは、あいなと思いました。人が家、車を  
一しゅんでのみぐみ、人の生活もかえてしま  
うからです。ぼくは、六月にいおせに行つて  
つ波のひがいを見ました。家が流されたあと  
を見て、自ぜんのかはよそく出来ず、人の力が  
は全てをいせぐことが出来ないとかんじまし  
た。土砂崩れもつ波も同じだと思ひます。  
つ波でひがいをうけたいおきの海には新  
しく、剛よりも大きぬていぼくがつくられた  
いました。いつ土砂崩れがおきるのかだれに  
もおかりません。だから、土砂崩れにもてい  
ぼうがひつよいだと思ひます。ていぼうによ  
う大きぬひがいをいおすことが出来るが  
らです。みんなが安心してくらせるようにす

NO 3

まん年けいし

かどうも大切だと思ひました。